

平成 27 年 9 月 10 日

レギュラトリーサイエンス学会 学術大会 参加者各位

秋涼の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、去る 9 月 4 日、5 日に開催しました第 5 回レギュラトリーサイエンス学会学術大会には、約 500 名という多くの皆様にご参加を頂き、成功裡に終えることが出来ましたこと、衷心より感謝申し上げます。特別講演をお願いした東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授の辻 哲夫先生、理化学研究所 理事の松本 洋一郎先生、及び東京大学 名誉教授の岩田 修一先生には厚く御礼申し上げます。また、本学術大会においては、特別講演の他、11 件のシンポジウム、14 件の一般口演、23 件のポスター発表が行われました。座長、演者等をお勤め頂いた方々にも深く感謝申し上げます。

今回の学術大会は、「“医薬品医療機器等法” 大変革期を制御するレギュラトリーサイエンス」というテーマで開催させて頂きました。2 日間の大会を通じ、医薬品・医療機器・再生医療のレギュレーション・イノベーションに関わる議論が深められ、レギュラトリーサイエンスのミッション・ビジョンが共有されてきたことは大変有意義であったと思います。

また、今回の学術大会の運営については、行き届かない点多々あったかと存じます。この場を借りて、お詫び申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますとともに、引き続き、当学会へのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げて、略儀ながら私からの御礼の挨拶とさせていただきます。

レギュラトリーサイエンス学会
第 5 回学術大会 大会長 笠貫 宏